

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和元年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立あゆみの家	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	韮崎市旭町上條南割3314-13	設置年月日 (改築年月日等)	平成19年1月1日
管理方式	社会福祉法人蒼溪会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立あゆみの家設置及び管理条例		
設置目的	精神障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:2,169㎡ ○建築延面積:646.09㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造2階建 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・居室(全室個室:10㎡、1階に10部屋、2階に12部屋【収納、ベッド、洗面台、エアコン、カーテン、バルコニー、冷蔵庫】)、多機能室、相談室、浴室、娯楽室及び食道並びに事務室等 ○各障害福祉サービスの定員 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練(生活訓練):22人 ・宿泊型自立訓練:20人 ・短期入所:2人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・自立訓練(生活訓練)及び短期入所に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人) ・育精福祉センター成人寮:生活介護(105人)、短期入所(9人)、施設入所支援(90人)
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 (目標値)
利用者数	自立訓練(生活訓練)	20	19	20	
	宿泊型自立訓練	18	18	18	
	短期入所	1	1	1	
	利用者数合計	39	38	39	
	目標値	44	44	44	44
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対平成29年度比		97.4%	98.7%	
利用率		88.6%	86.4%	87.5%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		平成30年度	令和元年度 (計画値)	令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)
収入	施設利用料	75,327,320	68,600,000	81,319,412	74,185,000
	指定管理者委託料				
	その他	584,318	100,000	1,449,895	550,000
	収入合計(A)	75,911,638	68,700,000	82,769,307	74,735,000
支出	人件費	38,992,583	40,500,000	35,214,527	35,130,000
	県への納付金				
	管理運営費	10,942,631	28,200,000	12,325,481	39,605,000
	うち外部委託費(B)	826,523	800,000	809,170	800,000
	支出合計(C)	49,935,214	68,700,000	47,540,008	74,735,000
	収支差額(A-C)	25,976,424		35,229,299	
	外部委託比率(B÷C)	1.7%	1.2%	1.7%	1.1%
	利用者一人当たりの経費	1,997,674.7	1,807,894.7	2,149,852.1	1,698,522.7

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施期間:令和2年1月末 実施方法:利用者へのアンケート 回答数:18名
-------	--

単位:%

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
部屋の居住性・施設環境	40.0%	47.8%	12.2%	
入浴	44.4%	55.6%		
提供するサービス(自立訓練)	47.8%	42.2%	5.6%	4.4%
相談・対応	60.0%	37.8%	2.2%	
全体の満足度	44.4%	43.1%	12.5%	
施設全般の満足度	80.9%	16.4%	2.1%	0.6%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> ①テレビのチャンネル数が少ない。 ②上履きのまま居室に入るのが土足で上がっている感じがして嫌である。 ③食事に魚がよく出るのが嫌。 ④プログラムを休みたいと言にくい。心配かけたくない。
--------	---

利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> ①当該施設は指定管理施設であるため、CATVを導入できないことを説明した。 ②居室入口にマットを置いたりするなど提案した。居室で快適に過ごせることを個別に支援していく。 ③バランス良い食事提供を心掛けていることを説明した。 ④体調不良時はいつでも相談に応じることを繰り返し伝えている。
------------	---

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	法令、事務仕様書等に基づき、適正に業務を遂行した。 保守点検を行い、修繕箇所はできるだけ早期に確認・対応している。	業務仕様書、業務計画書どおり適正に実施されている。利用者の安全や利便性に留意し、保守点検及び日常業務の中で異常が確認された場合は、早急に対応すること。
運営業務	事業計画書に基づき、自立した生活ができるように支援し、本人の自己決定・自己効力感を促す訓練やプログラムを実施し、適正に業務を遂行した。 さらにプログラムにボランティアを導入し、利用者が地域住民と交流できる活動もしている。	事業報告書及び現地確認の結果、適正に実施されている。今後も引き続き利用者個々の特性に鑑みた個別支援計画を策定し、質の高いサービスの提供に努力されたい。
利用状況	待機者はほとんどなく、入退所がスムーズに進むよう、円滑に利用の調整を行っている。 令和元年度の宿泊型自立訓練退所者数:10名(GH4名 サテライト1名 自宅2名 再入院2名 短期入所1名) 短期入所の利用も少しずつではあるが、ニーズが出てきている状況。各サービス事業とも概ね計画通り運営できた。	ホームページの活用等により施設利用のPRに努めるとともに、引き続き、県内精神科病院、市町村、関係機関との連携強化を行い、利用者の確保に努力されたい。
収支状況	県内精神科病院などと連携を図り、希望者の事業所見学の受け入れなどを積極的にを行い、利用料収入が増額となった。 引き続き経費削減を図り、効率的な運営を心掛けていく。	安定的な経営運営が行われている。引き続き、施設・設備の計画的な修繕及び経費の節減に努めるとともに利用料収入の確保に努力されたい。
自主事業		
利用者満足度	「満足」が全体の90%との結果であった。不満の回答は施設設備の過ごしにくさや食事の好みによる意見が多かった。今後も丁寧な説明や関わりをしていく必要がある。今後も利用者の視点を大切にサービス提供を図っていく。	満足度が全体的に高く、努力の様子が伺える。引き続き高い満足度を得られるよう、個々のニーズに即した支援を行い、地域での自立した生活を実現させるために必要な訓練及びプログラムの充実を図ること。
運営目標の達成状況	精神科に入院している方など、精神障害のある方が自立した地域生活に移行できるように、個別支援計画に沿った生活訓練等を実施している。令和元年度は長期入院の精神障害者だけではなく、ニューロングステイにならないように短期間の入院で入所される方も増えてきている。親元からの自立のために自宅から入所した方や、刑務所出所後からの入所者もいた。 定期的なモニタリングの実施により、利用者の個別性を大切に次のサービスにつないでおり、2年以内の利用期間で移行することができている。 今後も、利用者の状況に応じた個別支援やプログラム等の提供により、丁寧なアセスメントを図っていく。利用者の生活の質の向上やスムーズな入退所に努め、地域へ移行できる方を増やしていきたい。	

<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>施設管理・運營業務等について、条例、協定等に基づき適正に履行している。質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営している。引き続き、県内精神科病院、市町村、関係機関と密接な連携を図り、利用者へのサービスの質の向上に努めること。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>今後においても、条例・協定に基づき適正な運営を行うように努力する。サービスの質の向上を図るとともに、引き続き経費節減にも努めていく。令和元年度宿泊型自立訓練は、10名の新規利用者があった。今後も、県内精神科病院、市町村、関係機関との連携強化を行い、山梨県内の社会的入院の解消、地域移行の推進、8050問題に関わる親元からの自立など、地域課題の解消に貢献できるよう努めていく。</p>

7 管理体制(組織図)

平成31年4月1日現在

